

知床斜里駅の今



岩崎 愛絆さん <斜里高2年>



(左から)浮須 翼さん<網走南ヶ丘高3年>、
金澤 彩羽さん<2年>、笠井 莉緒さん<2年>

観光客との交流も

以前、汽車の乗り方に戸惑う外国人観光客に声をかけたことがありました。「ありがとう」と日本語で返してくれたことが嬉しくて、持っていたお菓子を英語でメッセージを書いて渡したんです。すると、そのお礼にと、お土産に買ったのであろう木彫りの熊をプレゼントしてくれました。これを今でも大切にしています。

高校生の『汽車通』の日常

汽車を待つっている間の過ごし方

部活終わってから帰りの汽車まで、知床斜里駅の多目的スペースで過ごしています。フリーWiFiを利用して、宿題をしたりSNSを見たり。ただ、観光シーズンになると席が埋まることもあるので、カウンターなど一人で座れる場所があると嬉しいです。

汽車での過ごし方

浮須さん 友だちと話すか、音楽聞か、勉強するか、寝てるか。知床斜里から40分くらいの乗車時間を最大限、有効活用しています。

金澤さん 私は汽車の中で朝ごはんを食べることがあります。汽車の時間が早いからそれに合わせて朝ごはんを食べるとお昼前にお腹が空いてしまうから。最寄りのコンビニも気軽にいきづらい距離だから、知床斜里駅の多目的スペースにパンの自販機があつたら嬉しいですね！

笠井さん 基本、友だちとおしゃべりして過ごしています。高校入学前は乗り物酔いがすごいタイプだった

知床斜里駅を日常で使う高校生に、汽車通の過ごし方や思い出などを聞いてみました。

けれど、汽車通を始めて三半規管が強くなりました。帰りの汽車では座れないことが多いので、体幹も鍛えられています(笑)。

好きな季節は夏・冬

浮須さん 好きな季節は夏です。小清水原生花園の観光シーズンだけ停車する原生花園駅で、ハマナスの花が咲いているのが結構好きです。でも冬の景色もやっぱり良いですね。来年度は町外へ進学する予定なので、今年度のうちに流水を目に焼き付けておこうと思います。

金澤さん 冬の景色がすごいキレイなんです。原生花園の景色も好きですが、斜里と止別の間で、凍ってキラキラしている木の間を汽車が通るときの景色が一番のお気に入りです。

笠井さん 冬の景色が好きです。木に雪が積もっているのがキレイで、見えると嬉しい気持ちになります。流水が通学するときに見られるのも、ここの特権だと思います。2年生になった今では見慣れてしまいました(笑)。

知床斜里駅のこれから

投票ありがとうございました！

多目的スペースの愛称が決まりました！

昨年3月まで「知床斜里観光案内センター」として使われていた場所が「知床斜里駅多目的スペース」として生まれ変わりました。みなさんの投票により決定した愛称は斜里町HPでご確認ください！！

今年もJR流水物語号が運行！



運転日：2026年1月31日(土)～3月1日(日)、7日(土)・8日(日)

2017年から始まったJR観光列車「流水物語号」の運行が今年も始まります。網走～知床斜里を走り、一部区間で速度を落として運転します。車窓から眺める流水の景色は観光客に大人気です。

知床斜里駅のこれまで

1925年に開業し、2025年11月10日で100周年を迎えた知床斜里駅。今回は町の暮らしを支え続けてきた知床斜里駅を、過去・現在・未来の3つの視点から紹介します。

まずは、これまでの知床斜里駅を振り返ってみましょう。100年前の開業当初、今と同じ場所にできた駅の名前は「斜里駅」。

それまでの主な輸送・交通手段は船でした。しかし海が荒れるときや流水の時期になると流通が止まり、町の人々は不便を強いられていました。

1925年に鉄道が開通し、安定して大規模輸送ができるようになったことで、町の姿は変わりはじめます。中心部が海側から駅周辺へ移り、より多くの人やものが行き交うようになり、斜里駅は町民の生活・産業の要となりました。

それから道路の発達や自動車の普及が進み、路線の数は減りましたが、現在も高校生の通学や観光客の足として斜里の町を支えています。



開業当時の駅舎。西洋風の近代的な姿で建造され、1937年の火災で焼失するまで斜里の町を支えていました。

しれとこしゃり 知床斜里駅の

Shiretoko-shari

これまで・今・これから
Koremade Ima Korekara

駅と町に関わるできごと

1925(大正14)年	「斜里駅」開業(網走・斜里)
1937(昭和12)年	火災により駅舎焼失・数年後再建
1964(昭和39)年	知床国立公園指定
1971(昭和46)年	根北線廃止を認める条件のひとつとして老朽化した駅舎が改築
1998(平成10)年	「知床斜里駅」に改称
2005(平成17)年	知床が世界自然遺産に登録
2007(平成19)年	複合駅舎にリニューアル(駅舎改修、観光案内センター新築)
2025(令和7)年	知床斜里駅開業100周年

出典：斜里町HP「町のあゆみ」
宮内盛一「写真から見る国鉄斜里駅舎の歴史」(2007年)

2025



現在の駅舎は2007年にリニューアルしたもの。当時増設された観光案内センターは現在、多目的スペースとして開放され、観光客向けの記念スポットや地域住民の憩いの場として使われています。

背景の地図は、斜里駅の開業から4年後に製作された「斜里市街明細図」。今の街並みと比べながら見てみると思わぬ発見があるかも。